



Cisco DNA Center プラットフォームについて

- [About Cisco DNA Center プラットフォーム \(1 ページ\)](#)
- [インテント API について \(2 ページ\)](#)
- [統合フローについて \(3 ページ\)](#)
- [マルチベンダー SDK のサポートについて \(3 ページ\)](#)
- [イベントおよび通知について \(4 ページ\)](#)

About Cisco DNA Center プラットフォーム

Cisco DNA Center は、そのネイティブ機能の上に構築可能な付加価値アプリケーションを作成するために、シスコのお客様とパートナーが使用できる拡張可能なプラットフォームを提供します。Cisco DNA Center プラットフォームの次の機能を活用し、エンドツーエンドの IT プロセスを最適化し、総所有コスト (TCO) を削減し、新しい価値ネットワークを開発することで、全体的なネットワークエクスペリエンスを高めることができます。

- **インテント API** : インテント API は Cisco DNA Center プラットフォームの固有機能を公開するノースバウンド REST API です。インテント API は、ビジネス目的のポリシーベースの抽象化を提供し、成果を実装するためのメカニズムに悩まされることなく、成果に注力できるようになります。API は REST API アーキテクチャスタイルに準拠しており、シンプルかつ拡張可能で安全に使用できます。また、HTTPS 経由の GET、POST、PUT および DELETE 操作を含む標準の REST メソッドをサポートしています。詳細については、『[Getting Started with the Cisco DNA Center Platform Intent API](#)』を参照してください。
- **統合フロー** : 統合機能はウエストバウンドインターフェイスの一部です。最新のデータセンターでの運用を拡張および高速化するニーズに応えるため、IT オペレータにはオープン API によるインテリジェントなエンドツーエンドのワークフローが必要です。Cisco DNA Center プラットフォームは、アシュアランスワークフローおよびデータと、サードパーティ製の IT サービスの管理 (ITSM) ソリューションを統合するためのメカニズムを提供します。詳細については、『[Integration APIs](#)』を参照してください。
- **マルチベンダーサポート** : お客様は Cisco DNA Center を使用してシスコ以外のデバイスを管理できるようになりました。マルチベンダーサポートは、サードパーティ製デバイスの

デバイスパッケージを作成するために使用できる SDK の使用を介して Cisco DNA Center で可能になっています。デバイスパッケージは、サウスバウンドプロトコルに Cisco DNA Center の機能をマッピングすることで、Cisco DNA Center とサードパーティ製デバイス間の通信を可能にします。詳細については、『[Getting Started with Cisco DNA Center Multivendor SDK](#)』を参照してください。

- イベントおよび通知サービス：サポートされているサービスは、Cisco DNA アシユアランスイベントおよび Cisco DNA Center SWIM イベントをキャプチャして、サードパーティ製アプリケーションに転送するために使用できます。



- (注) SUPER-ADMIN-ROLE のユーザは、Cisco DNA Center プラットフォームアプリケーションにアクセスできます。SUPER-ADMIN-ROLE のユーザとしてログインすると、Cisco DNA Center プラットフォームの機能を表示し、GUI を使用してアクションを実行できます。さらに、SUPER-ADMIN-ROLE のユーザは、さまざまなプラットフォーム機能（API、バンドル、イベント、およびレポート）に対する読み取り、書き込み、または拒否権限を持つカスタムロールを作成できます。この機能にアクセスするには、[Menu] アイコン (☰) > [System] > [Users & Roles] > [Role Based Action Access Control] の順にクリックします。

インテント API について

インテント API は Cisco DNA Center プラットフォームの固有機能を公開するノースバウンド REST API です。インテント API は、ビジネス目的のポリシーベースの抽象化を提供し、成果を実装するためのメカニズムに悩まされることなく、成果に注力できるようになります。

API は REST API アーキテクチャスタイルに準拠しており、シンプルかつ拡張可能で安全に使用できます。また、HTTPS 経由の GET、POST、PUT および DELETE 操作を含む標準の REST メソッドをサポートしています。REST エンドポイントは、JavaScript Object Notation (JSON) ドキュメントを含む HTTPS メッセージを受信して返信します。API メソッドを含むメッセージと JSON ドキュメントの生成には、どのプログラミング言語でも使用できます。これらの API は、Cisco DNA Center のロールベースアクセスコントロール (RBAC) ルールに準拠します。セキュリティ対策として、API を使用する前にユーザを正常に認証する必要があります。

インテント API は、Cisco DNA Center プラットフォーム GUI で確認できる API カタログに一覧表示されています。[Platform]Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックして選択します。 > [Developer Toolkit] > [APIs] の順に選択します。



- (注) インテント API の詳細については、「[Intent APIs](#)」を参照してください。Cisco DNA Center プラットフォームが使用する API についての一般的な情報は、「[Cisco DNA Center Platform Overview](#)」を参照してください。

統合フローについて

統合フローを使用すると、IT サービス管理 (ITSM)、IT 運用管理 (ITOM) ベースのレポート、および IP アドレス管理 (IPAM) などの職務横断的 IT ドメインに Cisco DNA Center をシームレスに統合できます。これらの統合により、Cisco DNA Center から生じる多数のイベントと情報を操作可能にしたり、IT バリューチェーン全体のループを閉じたりできるため、非常に重要です。このような統合は重要で、ネットワークエンジニアと IT スタッフ間の引き継ぎを最小限に抑え、問題の重複を排除することで迅速な修復を可能にし、最終的にさまざまな IT プロセスを最適化できます。

統合フローは、Cisco DNA Center プラットフォーム GUI にある [Developer Toolkit] に記載されています。統合フローのリストを GUI で表示するには、Cisco DNA Center プラットフォームの展開後に、[Menu] アイコン (≡) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [Integrations Flows] の順に選択します。



(注) この GUI ウィンドウには、有効にした統合フローしか表示されません。Cisco DNA Center プラットフォームで個々のバンドルから統合フローを有効にする必要があります。たとえば、[Menu] アイコン (≡) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [Manage] > [Bundles] > [Basic ITSM (ServiceNow) CMDB synchronization] > [Contents] タブの順に選択します。次に、[Enable] ボタンをクリックして、スケジューリングの統合フローを有効にします。詳細については、[バンドル機能](#)を参照してください。

Cisco DNA Center プラットフォームは、イベント、インシデント、問題、および変更の要求に関する標準規格を含む、IT4IT™ 参照アーキテクチャをサポートしています。IT4IT™ の詳細については、<http://www.opengroup.org/it4it/about>を参照してください。

詳細については、「[Integration APIs](#)」を参照してください。

マルチベンダー SDK のサポートについて

Cisco DNA Center によりユーザはシスコ以外のデバイスを管理できます。マルチベンダーサポートは、サードパーティ製デバイスのデバイスパッケージを作成するために使用できる SDK の形式で Cisco DNA Center で利用可能になっています。デバイスパッケージにより、Cisco DNA Center はデバイスとの通信に使用されるサウスバウンドプロトコルをカプセル化することで、サードパーティ製デバイスとの通信方法を理解できます。

具体的には、Cisco DNA Center マルチベンダー SDK では現在、次の機能がサポートされています。

- デバイス検出
- インベントリとトポロジでのデバイス表示
- デバイスのネットワークアシュアランス

- デバイスでコマンドランナーを使用して show スタイルコマンドを実行する機能



(注) Cisco DNA Center マルチベンダー SDK のサポートの詳細については、「[Multivendor Support](#)」および『[Getting Started with Cisco DNA Center Multivendor SDK](#)』を参照してください。

イベントおよび通知について

Cisco DNA Center プラットフォームは、特定のイベントがトリガーされた場合にカスタム通知を受信する機能をサポートしています。これは、イベントタイプに基づきビジネスアクションを実行するサードパーティ製システムには役立つ機能です。たとえば、ネットワーク内のデバイスがコンプライアンスに違反している場合、カスタムアプリケーションは通知を受信して、ソフトウェア アップグレードアクションを実行することがあります。

このリリースで使用可能なイベントのリストを表示できます。[Platform]Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックして選択します。> [Manage] > [Configurations] の順に選択します。そのようなイベントは、IT サービスの管理 (ITSM) のインシデント用にカスタマイズできます。